年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（１学年用)教科　芸術　科目 音楽Ⅰ

教 科： 芸術　科 目： 音楽Ⅰ　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ MOUSA1 教育芸術社 ）

教科 芸術 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 自ら身近なことから課題を見つけ、表現に必要な知識及び技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わう。

【学びに向かう力、人間性等】 目的をもって感性を高め、自ら表現できる。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現に必要な知識及び技能を身に付け、 他者と協働することができる。	自分の考えをまとめ、創造的な表現を工夫 したり、芸術のよさや美しさを深く味わい、 他者と分かち合ったりすることができる。	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むと ともに、感性を高め、心豊かに表現できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等					【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				
	歌唱 日本語の歌唱　言葉との関係	校歌　この道　むこうむこう 翼をください　Lemon　　等	○			○	【知識・技能】 曲にふさわしい発声や発音を身に付け、演奏に生かしている。 【思考・判断・表現】 日本語の語感を感受し、旋律との関わりを理解して演奏している。 【主体的に学習に取り組む態度】 旋律や伴奏、言葉に関心をもち、主体的に活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	器楽 クラシックギター	簡単な旋律 アポヤンド アンサンブル		○		○	【知識・技能】 楽器の仕組みや奏法を理解し、曲調にふさわしい奏法・身体の使い方を身に付けて演奏している。 【思考・判断・表現】 リズムや旋律を知覚しそれおを演奏に生かそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ギター正しい響きを身に付け、それらを追求している。	○	○	○	14
2学期	舞台芸術へのいざない 鑑賞及び歌唱	ミュージカル・オペラ バレエ・歌舞伎等 外国語の歌曲	○			○	【知識・技能】 曲想と歌詞の関わりを知覚し、文化歴史的背景等も理解した上でジャンルに応じた発声や表現のできる技術を習得している。 【思考・判断・表現】 曲調を味わい、物語の内容に応じた表現を理解して演奏に生かそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 各芸術の特徴に関心をもち、主体的に鑑賞活動に取り組んでいる。	○	○	○	14
	器楽 ギターアンサンブル キーボード ベル	ギター　デュオやトリオによるアンサンブル キーボードによるカノンやコード入門 ハンドベルによるアンサンブル		○		○	【知識・技能】 ふさわしい身体の使い方や、正しい奏法を身に付け、楽器の仕組みを理解して演奏している。 【思考・判断・表現】 リズムや旋律を知覚しそれを演奏に生かそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 正しい響きを身に付けそれを追求している。	○	○	○	14
3学期	器楽 ボディーパーカッション	ボディーパーカッションによるアンサンブル プリマスロック ドラムのビートを体験		○	○	○	【知識・技能】 ふさわしい身体の使い方や、正しい奏法を身に付け、楽器の仕組みを理解している。 【思考・判断・表現】 リズムや旋律を知覚し、それらを演奏に生かそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 正しいリズムを身に付け、それらを追求している。	○	○	○	12
	鑑賞 世界の民族音楽	世界の文化や民族に触れ音楽との関わりを学ぶ。				○	【知識・技能】 世界の諸民族の音楽の特徴や、楽曲の文化歴史的背景を理解している。 【思考・判断・表現】 音色や速度・旋律やを感じ取り、楽曲の構造との関わり合いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の文化の共通性や固有性に関心をもち、主体的に鑑賞活動に取り組んでいる。	○	○	○	10 合計 78